

みよし
市議会だより
Miyoshi City Assembly

No. 64
2020(令和2)年
2月10日発行



三次市消防出初式(1月5日 十日市親水公園)

令和元年12月定例会終わる

- 高校生と意見交換をしました…………… 2
- 議会報告・懇談会を開催しました…………… 4
- こんなことが決まりました…………… 7
- 議会のうごき…………… 20



三次市議会の
ホームページもご覧ください。

HPアドレス

<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>

▶ 市議会のページ

【三次市議会のページへアクセスします。】



高校生との 意見交換会



日彰館高等学校 11月28日(木)

今回で3回目となる日彰館高校との意見交換会ですが、今年度は、3年生のみなさんと意見交換を行いました。学校から身近な話題で、生徒の政治に関する関心や意欲を喚起できるような意見交換会にしてもらいたいとのご依頼がありました。なぜ議員になったのか、議員になって困ったこと、喜びを感じたこと、生徒に伝えたいこと等、議員の思い、エピソードをみなさんとお話をさせていただきました。



生徒の感想

- 議会には女性からの目線が足りておらず、また若い人の意見が反映できていないともあったので、今後もこのような意見交換に参加してまちづくりに貢献していきたい。
- 進学しても地域貢献できるような活動をしていきたい。
- 身近な話から深く掘り下げた話まで教えてくれた。
- 議員の活動ややりがい等いろいろな話を議員本人と直接話をすることができてよかった。
- 思ったより、楽しくて良かった。議員は遠い人という感じであったが、身近に感じることができた。
- このような体験は初めてだったので、参加できてよかった。またこのような機会があれば参加してみたい。
- 市民がどんな思いで住んでいるのか本音を知ることが難しいとおっしゃっていたので、もっと意見を言ったり、政治に参加することが本当に大切だと思った。
- 普段わからない議会でのことや議員の活動がわかった。もっと市議会や市について



日 彰館高校では、平成29年度に1～3年生を対象として「議会・議員の活動」について説明し、平成30年度は1～3年生を対象として各クラスで、「三次の課題」について意見交換をさせていただきました。そして今年度は、3年生を対象に議員の思いやエピソードについて話をさせていただきました。

毎年、学校とも協議をさせていただき、どのようにしたら生徒のみなさんの意見が引き出せ、政治に興味を持ってもらえるのか、いろいろと試行錯誤をしながら実施しています。

今年度はざっくばらんな話をさせていただいたので、みなさんとリラックスした感じで、意見交換会ができたと思います。アンケートにも「議員を身近に感じることができた」、「いろんな話が聞けて、議員のことが今までより知れた」等の回答もいただきましたので、少しは議員や政治について興味を持ってくれたと思います。これを機にもっと政治等に興味を持ってもらい、いずれは市政や地域活動に参加してもらいたいと思います。

反省点としては、もう少し皆さんと意見交換する時間が欲しかったと思います。そして、もっと将来のこと等についても話があったです。

次回に向けて、学校とも協議をさせていただき、改善していきたいと思っています。



- 知っていきたいと思った。
- 専門用語の意味が難しいところがあったが、それ以外は理解できた。
- 少し難しい政治関係の話が理解しにくい部分があった。

議員の感想

- 卒業した後、一旦は市外に出ても、帰ってきてもらいたい、将来の三次市を担ってもらいたい。
- 失敗を恐れずいろいろなことに挑戦して視野を広げてもらいたい。
- 見識を深めるためには、テレビやインターネットだけでなく、新聞など様々なものを利用してもらいたい。
- 生徒の質問に議員が答える方式はやりやすかった。
- 生徒が司会進行をする方法は、主体性を持たせる教育効果がある。
- 生徒の政治的関心にアプローチをかけたという学校側の思いも良い。
- もう少し時間が欲しかった。
- 若い人の意見を聞ける機会が少ないので、今回の取組を今後の提言につなげていきたい。
- どうして議員になったか、良かったこと、悪かったこと等、具体的な話ができただことは財産となった。

- 産となった。初めての取組であったが大変よかった。
- 将来的には地域貢献をしたという話も出ていたが大変心強いことだと感じた。
- 進学や就職等があると思うが、自分達が生まれた三次のことを、心の中で思っていたにだいていることが一番大切だと思う。
- 人口減少や少子高齢化が進む中、これからの三次市がどうなっていくのか。しっかりと見てもらいたい。みなさんの熱意と将来に向けて見守ってくださいる力があれば、三次がますます発展していくと思う。

- なぜ議員になったか、議員活動での喜びと困惑、生徒に伝えたいこと等、意見交流会として初めてのテーマをいただき、個々の議員が議会活動に臨む姿勢を具体的に話させていただいた。市民生活と政治は直結していて、そこを結び、政策を決定するのが議員の仕事です。その議員を選ぶ権利をみなさんは持つので、しっかりと議会の動きを知り、厳しい目線で議員を選ぶ、あるいは自ら選ばれる方に進んでいただくことを期待しています。



議会報告・懇談会

～市民と議会のつどい～を開催しました



令和元年11月5日から20日まで、市内19会場で開催
参加者の皆さま、開催にご協力いただきました皆さまにお礼申し上げます

概要

平成19年から開催し、今回で13回目の開催となりました。議員の班編成は4班で、議会運営委員会、総務・教育民生・産業建設の各常任委員会の正副委員長を班長、副班長とし、議員を所属常任委員会ごとに分けて構成しました。議会報告・懇談会は、2部構成で、第1部は「議会報告」として常任委員会からの次の事項について報告を行いました。



粟屋会場



河内会場



甲奴会場



作木会場

1 議員全員で
共有すべき意見等

① 議員定数についての検討。
② 第2部のテーマは、だれもが関連し、話しやすいものとする。

③ 昼間に議会報告・懇談会に行きたい人への対応。

2 常任委員会等で
調査・研究が必要と
思われる意見

● 総務常任委員会に関係するもの

① 自主防災会との懇談会開催
② 防犯灯の電気代等を地域で負担しており、自治会の加入者も減る中、負担が増えている。やり方を変えてもら

● 総務常任委員会
① 防災について

② 意見書の採択について

● 教育民生常任委員会

① 三次市歴史民俗資料館について
② 幼児教育・保育の無償化について

● 産業建設常任委員会

① 平成30年7月豪雨災害の復旧事業について

第2部は、「ワークショップ形式」による意見交換を行いました。今年度は、「公共施設の管理について」を統一テーマとして実施しました。現在、三次市では、「三次市公共施設等総合管理計画」に基づき、策定当時の783施設

の3分の1を削減するよう取組を進められています。これ

からの公共施設のあり方、管理について、みなさんご意見を今後の公共施設の適正管理の議論の参考とさせていただきます。そのため実施しました。

本年度の議会報告・懇談会では、300名の参加があり、多くのご意見・ご提言等をいただきました。そのご意見を次の3つの項目に分け、整理をさせていただきました。

われないと若い人に常会へ入ってもらおうよう話にくい。
 ③常会加入に係る啓発条例の制定。

●教育民生常任委員会に
 するもの

- ①給食調理場の再編について
 (地産地消、中学校への給食、センター化、保護者や地元等の意見聴取、策定委員会等の情報公開、複数の再編案の検討)
- ②美術館が多すぎるので、集客が見込めない所は集約したかどうか。
- ③図書館、資料館等の有効活用。利用者数の具体的数字を出し、集約するかを決めたい。
- ④支所管内の社協の体制が悪



三次会場

くなっている。支所長が本庁兼務となっており中々地元にはない。社協も地域の資源なので将来無くなるのではないか心配。

●産業建設常任委員会に
 するもの

- ①カーターピーナッツに対する支援の充実。生産しても所得になりにくい。カーターピーナッツ研究会の補助金の使い方にも問題があるように感じている。議会として行政に指摘し、市民に情報公開することを求める。



三良坂会場

3 議会報告・懇談会の
 成果、運営上の課題や
 今後の改善等

開催状況やご意見・ご提言等を踏まえ、今後の改善等について協議しました。
 来年度の開催に向けての改善策等について、今後、広報広聴常任委員会において協議を重ねてまいります。

(1) 成果について

- ①各自自治連から希望があったテーマは深い議論になった。
- ②議会報告・懇談会には様々なご意見があるが、これまでに続けてきたことが成果でもあるので続けていかなければいけない。



三和会場

③時間配分は良かった。
 (2) 課題について

【第2部(ワークショップ) 関連】
 ①ワークショップのあり方。3つもグループを作ったら、グループ同士が近すぎて話が聞こえない。20人程度の1グループが良い。
 ②ワークショップは良いが、人数が少なく2班できない会場があった。
 ③ワークショップという言葉がわかりづらい。
 ④個人意見が出て良いが、こちらからの投げかけ方が重要。
 ⑤テーマは明るいテーマが良い。建設的な意見が出ない。
 ⑥テーマ(公共施設の管理)

(2) 課題について

- ①各自自治連から希望があったテーマは深い議論になった。
- ②議会報告・懇談会には様々なご意見があるが、これまでに続けてきたことが成果でもあるので続けていかなければいけない。



十日市会場

が市民に浸透していないため、深い議論とならなかった。各地域の実情や情報を持って臨むべき。
 ⑦テーマが漠然としすぎていたし、資料も無かった。
 ⑧テーマは慎重に検討した方がよい。

【全体】

- ①昼間に議会報告・懇談会に行きたい人への対応。
- ②参加者の増加策が必要。(特に女性や若い世代の参加)

来年度の方針について

今年度の議会報告・懇談会のキーワードとして、「常任委員会報告方法の再考」、「ワークショップ形式の見直し」、「開催時期等の見直し」、「参加者(若い世代等)の増加」が挙げられ、そのキーワードをもとに今後の方針を、次のとおり検討しました。

- (1) 報告内容の見直しやワークショップ形式の取組内容の再考

●報告内容についての検討
 ●ワークショップ形式のテーマ、実施方法等についての検討



青河会場



川西会場

● 昨年に出た意見等について
委員会での研究結果の報告
● 地元議員の地元会場への出席の検討

(2) 高校生との
意見交換会の継続

(3) 地域や各種団体との
意見交換

● 各常任委員会での各種団体や地域との意見交換会を推進し、その意見交換会で行われた意見等について「PDCA」サイクルを行い、その意見等がどうなったのかの調査・検討を実施

(4) 開催時期・昼間開催の検討

● 翌年度予算に調査研究内容が反映できるよう開催時期（5月等）を早める等の検討
● 夜間に参加しにくい方を対象とした報告・懇談会の検討

(5) 参加者増加への議員の行動

● 駅前等でのPR、担当地域での参加呼びかけ、チラシの配布等の実施

今後、第1部の委員会報告や第2部のワークショップのやり方等を広報広聴常任委員会で検討し、市民の皆さんが参加して良かったと思える議会報告・懇談会としていきます。
また、この度、議会報告・懇談会でいただいた意見は、今後、議会で議員の一般質問や委員会の活動等を取り上げ、継続的に調査・研究を行うことにより、より良い三次市となるようにしていきます。



八次会場



布野会場



和田会場

議会報告・懇談会のご意見等を受け、
12月定例会で一般質問しました

▼保実議員

問1 人口減少社会における鳥獣対策について

▼六戸議員

問1 学校給食調理場計画への取組について（整備計画策定委員会の役割、市の方針の決定）

▼山村議員

問1 防災について（学校防災対策の見直し、災害対策本部、被災者の市営住宅の家賃免除）

▼藤井議員

問1 「スポーツのまち三次」について（競技施設、オリンピック機運醸成事業、スポーツイベント）

▼竹原議員

問1 給食調理場整備計画策定委員会に見られる情報公開について

問2 議会報告・懇談会からの提起（定住促進、働き方改革、公共施設等総合管理計画）

▼岡田議員

問1 公共施設のトイレの洋式化について

▼伊藤議員

問1 学校給食調理場整備計画策定委員会について

▼横光議員

問1 議会報告・懇談会の意見から（消防格納庫の施設整備、信号機、指定管理者制度）

令和元年12月定例会

こんなことが決まりました

12月定例会を12月6日(金)から12月18日(水)まで開催し、議案27件及び意見書1件を原案のとおり可決し、陳情2件を不採択としました。

一部改正された条例

●行政組織条例等の一部を改正する条例 全員一致

政策課題への対応強化を図り、本市の将来を見据えたまちづくりをさらに前進させるため、改正する。その内容は、事務事業の執行体制の見直しを行う。

●議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例 全員一致

会計年度任用職員制度の導入に伴い、改正する。その内容は、給料を支給される非常勤職員の補償基礎額について定める。

●特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

全員一致

公職選挙法施行令の一部改正等に伴い、改正する。その主な内容は、投票管理者等を交代して行わせる場合の報酬の額等を改めること等を行う。

●職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 全員一致

人事院において、給与改定の勧告が行われたことに伴い、改正する。その主な内容は、人事院勧告に準じた給料水準、勤勉手当の支給率及び住居手当の改定をする。

●フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 全員一致

人事院において、給与改定の勧告が行われたこと等に伴い、

全員一致

改正する。その主な内容は、人事院勧告に準じた給料表の改定等を行う。

●パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 全員一致

パートタイム会計年度任用職員の週休日の振替による勤務等について規定するため、改正する。その主な内容は、週休日の振替による勤務や正規の勤務時間が割り振られた日以外に勤務した場合における時間外勤務報酬等について定める。

●市営住宅設置及び管理条例等の一部を改正する条例 全員一致

民法の改正等に伴い、改正する。その主な内容は、連帯保証人

にかかる規定の改正等を行う。

●地域集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例 全員一致

「ひまわりコミュニティ集会所」ほか3施設を普通財産に変更することに伴い、改正する。その内容は、別表中「ひまわりコミュニティ集会所」ほか3施設の名称及び位置を削る。

●税条例の一部を改正する条例 全員一致

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたこと等に伴い、改正する。その主な内容は、個人住民税では、単身児童扶養者の個人住民税の非課税措置及びこれに係る扶養控除申告書の記載事項の変更等を行う。

●災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 全員一致

災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の改正に伴い、改正する。その主な内容は、災害弔慰金等の支給決定に当たる三次市災害弔慰金等支給審査委員会の設置等を行う。

●老人集会施設設置及び管理条例の一部を改正する条例 全員一致

「三次市秋町老人集会所」を、普通財産に変更することに伴い、改正する。その内容は、別表中「三次市秋町老人集会所」の名称

及び位置を削る。

●農林業集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例 全員一致

「徳市転作物加工等研修施設」ほか1施設を普通財産に変更することに伴い、改正する。その内容は、別表中「徳市転作物加工等研修施設」ほか1施設の名称及び位置を削る。

●支所設置条例等の一部を改正する条例 全員一致

みらさか土地区画整理事業による地番変更に伴い、改正する。その内容は、三良坂支所ほか7施設等の地番を変更する。

●印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例 全員一致

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い印鑑登録証明事務処理要領が改正されることから、改正する。その内容は、印鑑登録資格の見直し等を行う。

その他の議案

●市の境界の決定に関する意見について 全員一致

これまで未確定であった大土山頂上付近から北側斜面における本市と安芸高田市との境界について、広島県知事から境界決定(案)に対する意見を求められま

したので、これに「異議はない」とすることについて、市議会の議決を求めらる。

●指定管理者の指定について

全員一致

●指定管理施設
上田山の学校

●指定管理者
特定非営利活動法人

ほしはら山のがっこう

●指定管理施設
みらさか商店街

コミュニティ広場

●指定管理者
町上駐車場管理組合

●財産の無償譲渡について

全員一致

●譲渡施設
作本高丸共同利用施設

●譲渡先
農事組合法人高丸農園

●公益通報審査会委員の委嘱の同意を求めらることについて

全員一致

前田 剛志（十日市南）
（任期は令和元年12月21日から2年間）

陳情

●妊産婦医療費助成制度等の創設を求めらることについて

賛成少数で不採択

●三次市学校給食調理場再編に関する陳情書

賛成少数で不採択

意見書

●日米地位協定の抜本的改定を求めらる意見書

賛成多数で可決

意見項目

国は、日米地位協定を抜本的に見直し、基地提供の期間や使用目的など条件の明記、米軍への国内法の原則適用、基地内の事故現場での日本側の立ち入り等を実現すること。

令和元年度 一般会計予算の補正(第3号)

補正額 1億 357万4千円追加

総額 385億5,149万3千円

■主な補正内容

《歳入》

- ・市債 5,400万円
- ・国庫支出金 3,314万9千円 ほか

《歳出》

- ・障害者自立支援事業 6,344万3千円
- ・災害復旧事業(令和元年度被災分) 4,800万円
- ・学校整備経費(特別支援教室整備事業 ほか) 1,125万円
- ・河川災害防止対策事業 1,000万円
- ・市議会議員選挙経費(移動期日前投票所設置 ほか) 239万3千円 ほか

《繰越明許費》

- ・公共施設改修・解体事業 ほか

《債務負担行為》

- ・市議会会議録作成委託業務 ほか

《地方債》

- ・河川災害防止対策事業 ほか

令和元年度 特別会計予算・企業会計の補正

会計名	補正額	総額
国民健康保険特別会計(第2号)	▲130万円	55億6,443万1千円
	《債務負担行為》 ・基幹システム改修委託業務	
診療所特別会計(第2号)	1,202万7千円	1億8,179万4千円
介護保険特別会計(第2号)	▲15万円	72億2,087万4千円
水道事業会計(第1号)	収益的収入 資本的収入 資本的支出 企業債	961万1千円 財源の変更 198万9千円 限度額の変更
下水道事業会計(第2号)	収益的収入 資本的収入 資本的支出 企業債	711万9千円 3,770万円 22万8千円 限度額の変更

予算審議(補正予算)

定例会で、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案6件について、12月16日に委員会を開催しました。その審査と結果を次のとおり報告します。

【付託議案】

議案第127号 令和元年度三次市一般会計補正予算(第3号) (案) ほか5議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する指摘及び意見】

議案第127号「令和元年度三次市一般会計補正予算(第3号)(案)」繰越明許費補正については、災害復旧を優先する中で、個別に具体的な執行計画を立て、速やかな執行に努めること。

12月定例会 審議結果 (全員一致以外のもの)

○ …… 賛成 × …… 反対

区 分	陳情第1号 妊産婦医療費助成 制度等の創設を求 めることについて	陳情第2号 三次市学校給食調 理場再編に関する 陳情書	発議第8号 日米地位協定の抜 本的改定を求める 意見書(案)
結 果	不採択(賛成少数)	不採択(賛成少数)	可決(賛成多数)
	議長	議長	議長
小田	○	○	○
竹原	○	○	○
大森	○	○	○
助木	×	×	○
池田	○	○	○
岡田	×	×	×
亀井	×	×	○
保実	○	○	○
穴戸	○	○	○
新家	×	×	○
杉原	×	×	○
齊木	×	×	○
澤井	×	×	○
山村	○	○	○
桑田	×	×	○
鈴木	×	○	○
横光	×	×	○
伊藤	○	○	○
黒木	×	退席	×
弓掛	○	×	○
藤井	×	×	○
新田	○	○	○
片岡	×	×	○
藤岡	○	○	○

**陳情第1号に対し、
討論がありました**

反対討論

妊産婦に対し疾患や受診科目による制限のない医療費助成制度の創設について、願意は理解できるが、これから国が具体的な施策を立て、財政上の措置をしていく。本市の財政状況は厳しくなっており、市単独の財政によりこの制度

賛成討論

を創設することは、財政的に負担が大きいため、反対する。

国が施策を総合的に策定すると

しているが、それでは今の妊産婦には間に合わない。積極的に展開し、安心・安全な環境をつくり、妊産婦が費用の心配をすることなく医療等を受けられることが、少子化対策にもなり、これが自治体のなすべきことだと思ひ、賛成する。

**陳情第2号に対し、
討論がありました**

反対討論

現在の策定委員会の運営や教育委員会の対応については、課題があるが、中学校に給食を配食することが喫緊の課題であり、陳情事項である策定委員の公募をする時間がかかり、給食の提供が遅れる。策定委員会で陳情者の意見を

賛成討論

聞く方法はあると思われる。将来の児童・生徒の推移、校舎の耐用年数と今後の方向性等を鑑み、給食調理場の方向性を1日も早く決定することを望み、反対する。

行政の効率性や財政面からの議論となつてはいるが、児童・生徒を第一に考えなくてはいけない。食育の推進やおいしく安全で安心な給食をめざすべきである。策定委

**発議第8号に対し、
討論がありました**

反対討論

日米両政府は今年7月に日米協定に基づく米軍機事故に関するガイドライン指針を改正している。改正することには賛同できるが、どこまで要求するのか明確になつておらず、慎重にならざるを得ない。あるべき姿を追求すべきと考えるが、この意見書の内容は既に行われており、国は引き続き交渉していくこととしているので、反対する。

賛成討論

日米地位協定では土地提供義務が定められているが、その他にも様々な特権を与えており、不平等極まりない。米軍基地があるドイツ、イタリア等は既に改定しており、現在の日本の状況は真の民主国家とは言えない。早期に協定を見直し、尊厳を取り戻すべく、取り組まなければならないと考え、賛成する。

委員会審査

委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となりました議案等について、12月12日に各委員会を開催しました。その審査の経過と結果を次のとおり報告します。

総務常任委員会

【付託議案】

議案第109号「三次市行政組織条例等の一部を改正する条例(案)」ほか10議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する指摘及び意見】

議案第109号「三次市行政組織条例等の一部を改正する条例(案)」については、子育て・女性支援部から子育て支援部に変更されることで、子育てと女性活躍支援に関することが複数の部の所管となることから、特に女性活躍支援に関することについては施策が後退することがないよう、これまで以上に各部署の連携を図って事務事業を進められたい。

議案第113号「三次市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(案)」については、教職調整額を廃止することで時間外勤務手当の取扱いに關して学校現場

教育民生常任委員会

【付託議案等】

議案第117号「三次市税条例の一部を改正する条例(案)」ほか3議案

陳情第1号「妊産婦医療費助成制度等の創設を求めることについて」ほか1件

【審査結果】

議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決
陳情 いずれも賛成多数をもって採択

【議案等に対する指摘及び意見】

陳情第2号「三次市学校給食調理場再編に関する陳情書」については、次のような意見がありました。

- ① 陳情事項の「公募式の検討委員会」については、三次市学校給食調理場整備計画策定委員会、可能であるならば、委員会の定員である15名以内まで新たに保護者等から数名程度入れることを早急に検討されたい。
- ② 本年9月定例会の予算決算常任委員長報告において「策定委員会には現場の声等、様々な意見が反映されるよう、委員の人選等も含め、体制整備等を図られたい。」と述べており、様々な意見が反映されるよう給食調理場の整備について、策定委員会で意見を十

分聴取する場を設け、出された意見を基に、多面的に給食調理場整備について検討するよう取り組まれたい。

産業建設常任委員会

【付託議案】

議案第120号「三次市農林業集会所施設設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)」ほか3議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

議長の定例会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会日程等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日(12月18日)に議長の定例会記者会見を次のとおり実施しました。

- 1 令和元年12月定例会の総括について
 - (1) 請願(1件)・陳情(2件)の審査について
 - (2) 追認議決について
- 2 その他
 - (1) 通年議会について
 - (2) 令和元年台風19号に伴う災害に対する義援金について



市長へ通年議会の調査研究を申し入れました

令和元年12月定例会 一般質問

市政を問う



12月定例会では、14名が市政をただしました。質問と答弁の一部を紹介します。詳細については、会議録を製本の後、議会事務局、各支所、三次市立図書館及び分館に常設します。また、三次市ホームページ（アドレスは下記のとおり）では会議録と本会議の録画映像をご覧いただけます。なお、一問一答方式で一般質問を行っていますが、紙面の都合上まとめて記載しています。

HPアドレス

<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>

→市議会のページ→市議会議事録

→市議会のページ→三次市議会インターネット配信



質問1

合併15年の検証と今後のまちづくりの方針は

15年を経過した周辺部は人口減に歯止めはかからず、商店の廃業や事業所の閉鎖等、厳しい状況が続いている。有利な財源である合併特例債、過疎債の活用等により、一定の社会基盤は整備された。本庁や支所から遠い周辺部の郵便局での証明書の発行を提案する。

答弁1

調査し、見極めていきたい

福岡市長

周辺部において利用が見込まれる地域の状況、あるいは市と郵便局双方のインフラ整備等を検証する必要がある中で、しっかりと調査し、今後、見極めていきたい。また、郵便局長会とも積極的に情報交換をしていきたい。

質問2

人口減少社会における鳥獣対策は

鳥獣被害は、いぜん高止まりしている。イノシシの増加は豚コレラやアフリカ豚コレラの感染源になることから、養豚業にとって大変脅威である。猟期でのシカの補助金増額とイノシシの補助金創設の検討及びジビエ料理教室開催を提案する。

答弁2

捕獲強化策に取り組んでいく

中廣産業環境部長

狩猟期間中のイノシシ捕獲に対する補助は、今後、捕獲強化対策の一つとして、検討していきたい。

安全・安心なジビエの活用は有害鳥獣の被害防止策の一つと認識しており、市が主催するイベントで、ジビエを扱っている事業者への出店や農産物の直売所等でPR等を行っている。今後も、関係者と連携して普及・PRに努めていく。





戸 稔
【清友会】

質問1

**みよし観光まちづくり機構
(三次版DMO)の取組状況は**

三次観光における「稼ぐ力」と「交流」の創出を目的に、設立されて2年が経過するが、取組状況はどうか。「観光地域づくり」の観光戦略の司令塔として、交通事業者、農林業、商工業、宿泊施設、飲食店等の関係者を交えてのプロジェクトを3行っていく必要があると考えるがどうか。

答弁1

**調査や分析に
着手され始めている**

中原地域振興部長

DMOが実施している市場調査結果を基に、市内の観光協会、商工団体等が参加するワークショップで得られた意見を今後の戦略づくり等の基礎データにされる。市への新たな人の流れを生み出し、来訪者と市民の交流の場をつくることにより、稼ぐ力、交流を創出するために必要な調査や分析に現在着手され始めている。

福岡市長

三次にしかない資源をいかに有機的に結び付けながら観光客を増やし、そして観光消費額増加に向けた取組を行えるかが課題である。
DMOで分析する中で、新たな観光客やター

質問2

**学校給食調理場
整備計画への取組は**

ゲットを絞ることにより、これからの観光振興、産業振興に結び付けることも可能になってくるので、いろいろな情報を集約して積み重ね、関係機関、観光協会等と連携をする中で、DMOとしての役割を果たしていく。

答弁2

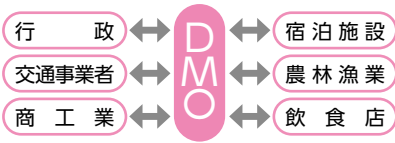
**策定委員会の結果を受け、
教育委員会で方針を決定する**

長田教育次長

学校給食調理場再編の基本方針が示されて2年半が経過したこの時期になぜ三次市学校給食調理場整備計画策定委員会を設置されたのか。この委員会の必要性と役割は何か。今後の進め方はどう考えているのか。

平成30年3月に基本計画案を策定したが、学校給食調理場整備に係る基本的方針をまとめたものである。策定委員会を設置し、改めて関係団体等からの意見をまとめていただくことで、教育委員会として方針決定を行うよう考えている。

DMOと関係者との連携イメージ



**DMOの機能の一部である
マーケティング機能**

マーケティング、プロモーションを一元的に担う機能 (関係者がお客に対し、一元的、双方向的に対応する機能)



山村 恵美子
【清友会】

質問1

**市民にとって必要な医療
体制は守られていくのか**

厚生労働省が「再編統合についての議論が必要」として公表した全国の公立・公的病院の中に、庄原赤十字病院、府中市市民病院が含まれている。

医療ニーズ、医療の質の担保について精査し、経営努力をされているにもかかわらず、名指しされたことに多くの病院が困惑している。

両病院とも三次市民が多く受診しており、地域にとって必要な基幹病院である。今後、地域医療構想において、医療体制は再編統合に向かっていくのか。本市のスタンスと将来の医療体制への考え方を伺う。

答弁1

**関係機関と連携、
情報交換をしていく**

福岡市長

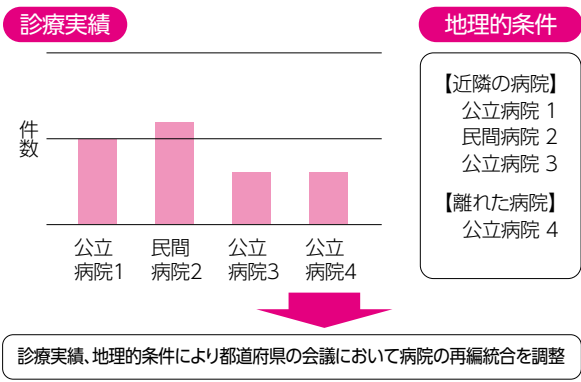
医療は大きな問題であり、改めて本市の主要施策である「暮らしの安心」の部分について、医療体制の整備、医療サービスの充実が重要であると再認識した。

この発表は将来に必要な病床数等の再検証を促すもので、統廃合等を決定するものではないとされており、強制的なものではないと認識している。
地域医療体制確保のため、医師会、各病院との連携強化を図り、実情に応じた機能分担と連携強化を図っていく中で、関係機関と連携、情報交換をしていく。

牧原福祉保健部長

現在、地域医療構想で示されているのが、機能分担である。高度急性期、急性期、回復期、慢性期等の病床機能をどのように維持していくかが課題で、病院の経営自体の影響を考え、効率的な運営をしていく必要がある。安心して医療を受けられる環境整備が必要なので県や医療機関と協議しながら進めて行く。

公立・公的病院の再編統合





質問1

子育て日本一の事業推進を

福岡市長は子育て事業への引き続きの注力を表明されたが、幼保無償化により浮く市独自事業費で新たな市独自施策の策定・推進を実施してはどうか。

また、子どもの成長には、早いうちから集団での活動が必要不可欠だが、国の無償化の対象とならない世帯(専業主婦世帯等)への保育料補助や3歳未満児保育料の緩和等、保護者の負担削減施策、待機児童解消への施設運営支援、無償化に伴う施設側の事務作業の負担増への支援等、受入体制充実施策の検討・充実・実施について伺う。

答弁1

市独自事業として給食費補助等を実施している

松長子育て・女性支援部長

無償化の対象として、幼稚園保育料、幼稚園等の預かり保育、認可外保育所保育料のサービス等が加わることで、新たな市の負担も発生している。また、市独自事業の給食



保育所で遊ぶこどもたち



費軽減措置として、給食費補助を開始している。削減となる予算の活用は必要性の高い子育て支援策を含め、全体予算の中で活用を検討していく。
入所要件を満たさない場合の取り扱いには、距離が遠いために幼稚園等に行けない等の場合においては、国の制度として特別利用保育があるのでこのような制度も考えながら将来的に検討していく。
幼稚園等の無償化の事務処理は、負担軽減に配慮をしているが、負担が大きければ、施設ごとに細やかに対応していく。



質問1

SNSを活用して積極的な情報発信を

先進自治体では、首長をはじめ職員によるSNSを活用した情報発信を積極的に行っている。

本市の情報や魅力の発信のみならず、災害時の伝達手段としても有効と考えるが、いかがか。

答弁1

さらなる情報発信の強化を図っていく

中村総務企画部長

市の情報や魅力をタイムリーに発信でき、災害時には情報収集や現状を市内外に発信する手段としても、利用者も多く、直接的に情報発信できるSNSの活用は有効と考える。現在、フェイスブックを運用しているが、観光や災害の情報発信の手段を充実させるため、他のSNSの活用も検討しており、今後、広報の体制強化や広報研修会等により、職員意識改革を行い、さらなる情報発信の強化を図っていく。

質問2

三良坂体育館のトイレの現状は

三良坂体育館のトイレは、清掃は行き届いてはいるが薄暗く、老朽化が激しい。中学校の屋内運動場も兼ねており、剣道や卓球等、様々なスポーツ大会で市内外から多くの来場がある。学校トイレの洋式化の二環として改修することはできないかという思いもあるが、現状の管理を伺う。

答弁2

三良坂中学校で清掃等の日常管理を行っている

中原地域振興部長

みらさか学園三良坂中学校で清掃等の日常の管理も行っており、トイレ清掃も毎日行っている。夜間や休日は一般利用もあり、清掃を行わない時間帯等もあるが、一般利用者においては、きれいに使用していただくよう、ご理解とご協力をお願いしたい。



三良坂体育館



質問1
給食調理場整備計画策定委員会における情報公開を

①策定委員会の非公開はなぜか。市民関心度の高い課題は、情報公開を積極的にに行い、審議内容を明らかにすべきではないか。
②情報公開の基本的姿勢について、福岡市長は議員時代「つまびらかな公開を訴えていたが、市長としての情報公開の姿勢はいかがか。
③策定委員の意見はどのように反映されるか。また、公募委員の選任をしてはどうか。

答弁1
積極的、効果的な情報発信と速やかな情報公開を行う

長田教育次長

①非公開は、報道や傍聴者がいると意見が言いにくい等の理由により、委員会の総意として決定された。会議録の公開は、策定委員会の了解が得られれば、公開する。
③策定委員会できりまとめられた報告を尊重し、教育委員会としての方針を決定する。また、公募については現在考えていない。

福岡市長

②わかりやすい情報発信や参加しやすい行政を常に意識し、施策の企画、立案、遂行にあた

り、積極的、効果的な情報発信と速やかな情報公開を行っていく。

質問2
こども権利条例の制定は

①子ども応援宣言の具体化は。
②子どもに対する権利の保障は。
③子どもの社会参画の保障は。

答弁2
取組基本方針に沿って進めているため、条例化は考えていない

松長子育て・女性支援部長

①三次市子どもの未来応援宣言取組基本方針を策定し、総合計画や分野別計画に必要な施策を盛り込んでいる。
②宣言の3つの柱である「可能性を伸ばす」、「希望を支える」、「チャレンジを応援する」を、子どもの成長段階に応じて取組を進めることが権利を守ることにつながると考える。
③昨年実施された中学生の地域の魅力や活性化案の提案事例も参考とし、子どものチャレンジを応援する場として、学校・団体等と連携する中で検討していく。



三次市子どもの未来応援宣言



質問1
医療相談窓口の設置を

広島市と周辺15市町で構成する広島広域都市圏が導入している救急相談窓口を本市も考えるべきではないか。

答弁1
非常に効果があると聞いている

牧原福祉保健部長

救急車の適正利用や病院の負担軽減に効果があると聞いており、制度加入の可否を含め、要望や調整をしていきたい。
現在、本市では、市立三次中央病院で24時間救急体制を整え、対応ができていますが、相談窓口導入にあたっては、地域の特性や効果、費用等を踏まえ、関係機関と協議をしていく必要がある。

質問2
子どもたちのための学校給食調理場の論議を

給食調理場の再編計画が論議されている。食教育・安全対応(災害対応、アレルギー対応、事故対応)等の視点での論議をしなければならぬと考える。そのためには複数の具体的な再編案が策定委員会に示され、比較検討される事が論議をより深めることになるかと考える。

答弁2
策定委員会ですっかり意見をいただければと考える

長田教育次長

平成30年3月に市としての基本計画案を示しており、策定委員会では、その基本計画案をもとにご意見をいただきたいと考えている。また、市へ出された意見についても提示させていただき、市の基本計画案と併せて議論を深めていただきたい。市の基本計画案も含めてたたき台であるので、策定委員会ですっかり意見をいただければと考えている。



給食調理場



岡田 美津子
【公明党】

質問1
児童虐待防止に向けた
取組を

今年6月、児童福祉法等の改正法が成立した。改正法では、親等による体罰の禁止を明記している。この改正法を受け、改めて市民参加の講座や研修会を開催するべきと考える。

また、児童虐待とDVの双方から親子を守る体制強化の取組について伺う。

答弁1
すくすくネットワーク協議会の
体制強化をした

松長子育て・女性支援部長

本市には地域子育て支援センターがあり、このセンター等を活用し、子どもへのより良いかわり方を学ぶ機会をつくり、子育てに関する不安を解消し、安心して子育てができるための支援を実施していきたい。

児童虐待とDVの相談があった場合は、婦人相談員と家庭児童相談員が女性活躍支援課に在籍しており、早期に連携し対応することができ。

また、今年度からすくすくネットワーク協議会にDV対応の機能を加え、双方に取り

組めるよう体制強化した。

質問2
学校施設・公共施設の
トイレの洋式化を

令和元年11月策定の実施計画では、来年度の学校トイレ改修事業として1億1500万円の予算が計上されている。この事業の取組の考えと計画内容を伺う。

また、公共施設・観光施設のトイレも順次、安心・清潔な洋式化にすべきと考えるが、今後の計画はどのようになっているのか。

答弁2
関係者の意見を伺いながら、
必要な整備をしていく

長田教育次長

学校トイレ改修事業においては、基本的には全ての便器の洋式化を提案していきたい。改修は、大規模校を先行して実施しており、今回の実施計画では八次小学校を対象としている。

今後は、長寿命画計画策定に伴う建物調査の結果に基づき、優先順位を判断していく。

福岡市長

公共施設・観光施設のトイレは、外国人旅行者の受入や高齢者、障害者等の社会的障害を取り除くバリアフリー化の一環として多目的トイレの設置も増えている。

今後は関係者の意見を伺いながら、必要な整備をしていく。



黒木 靖治
【公明党】

質問1
草刈り作業等の共助を

高齢化により、田の畦畔等の草刈りが年々難しくなっており、地域の課題解決の方法として「関係人口」^{※1}やシェアリングエコノミー^{※2}を活用し、草刈り等の共助を広げる試みとして、市が窓口となつてこの取組を検討してはどうか。

※1：その地には住んでいないが、様々な手段で地域や集落に貢献しようとする人

※2：共有型経済。モノだけでなく、体験、スキル、時間等を分かち合い、地域の課題解決につながる仕組み



草刈りの様子

答弁1
関係機関と一緒に地域に入り
一緒に考えていく

中廣産業環境部長

今後の中山間地域の農業は、農業者、非農家の地域住民等が年齢や性別にかかわらず幅広く参画する仕組みづくりが重要と考える。市としてこのような取組に対し、集落での話し合いの場に、関係機関と一緒に参画し、一緒に考えていきたい。

質問2
積極的な中小企業支援策を

元気な中小企業を育てることが、地域再生につながるという認識で、積極的に支援する「地域産業政策」に力を入れる「エフビズ（F-BIZ）」^{※2}をモデルとした中小企業支援施策が全国の自治体に広がっている。

本市でもこの取組を参考にし、支援策を積極的に進めていきたい。

※3：中小企業を支援するための静岡県富士市が開設した「富士市産業支援センター」の略称

答弁2
今後も関係機関と一緒に
取り組んでいく

中廣産業環境部長

現在、中小企業支援の取組として、商店街、新たな起業、中小企業の人材育成確保、事業承継等について、三次商工会議所、三次広域商工会等、多くの関係機関と一緒に取組を進めている。今後も中小企業の振興、商工業の振興を一緒に進めていく。



伊藤 芳則
【共産党】

質問1 学校給食調理場整備計画
策定委員会は

策定委員会は非公開、議事録は公開しないのでは、給食調理場センター化ありきで進めようとしているように思える。また安心・安全な地元食材3割をどのように調達するのか疑問である。
策定委員会の報告がセンター化以外の結果になった場合、それに従うのか。

答弁1 策定委員会の報告を
尊重させていただく

長田教育次長

現在、再編基本計画案を本市の考え方の基本とし、策定委員会で検討していただいている。その内容がとりまとめられた報告書を尊重させていただき、教育委員会としての方針を決定していく。

質問2 災害復旧と内水対策を
急ぐべきでは

農地災害で田植えができなければ離農につながる。早急に対策が必要ではないか。

答弁2 復旧復興に向け
取り組んでいる

柴田副市長

また内水対策の仮設ポンプの設置や十日市南の水路改修計画は進んでいるのか。
一日でも早い復旧復興に向けて市内建設業者の協力もいただき、取り組んでいく。また農家の皆さんにも状況等を説明して進める。

川村危機管理監

仮設ポンプ設置は、現在、建設部で内水氾濫の実態調査を行っており、その結果を踏まえ、検討していく。また、今年度整備した排水ポンプ車を機動的に活用していく。

坂井建設部長

十日市南の水路改修は、平成29年に原因を調査し、既設水路断面が小さいことが分かった。今年5月に二部水路断面の改修を行ったが、今後、根本的な対策も含め、検討していく必要がある。



被災した農地



鈴木 深由希
【真正会】

質問1 高齢者が安心して暮らせるための
支援のしくみ「地域包括ケア支援
システム」のあり方は

①医療・看護と介護の連携である「地域ケア会議」の地域格差のない体制整備が必要と考える。未設置地区への促進は。
②認知症は、軽度の時期に適切な環境、支援が整えば、現状維持か進行が緩やかになる。早期発見、サポートを「認知症初期集中支援チーム」が行っているが、医師会との連携強化を求める。
③認知症対策連絡会議の位置づけは。

答弁1 各地域の目的を明確にし、
体制を構築していく

牧原福祉保健部長

①立ち上げには至っていない地域があるが、高齢者の見守り等に取り組んでおられる地域もあるので、各地域の目標を明確にしながら、共通の意識を持ち地域ケア会議の推進に努めていく。
②医師会には、支援チームの活動にあたり、認知症サポート医の養成、また連携が必要な関係者が参加する会議や研修への参画を通して、かかりつけ医の認知症の早期発見・対応について機能強化と連携を進めていただいている。

質問2 ユニバーサルデザインの
まちづくりの第二歩は

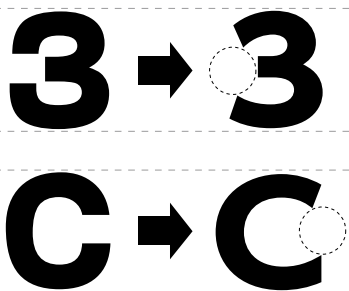
③市独自の取組であり、医療と介護の連携のため平成29年度設置し、保健、医療、福祉、介護の専門職等の関係団体等で構成している。認知症の相談支援者向けの認知症ケアパスや地域課題や資源の把握、これらを会議の中で適切に整理し、サービス提供につながるようにすることを目的としている。

答弁2 現在は困難と考える

中村総務企画部長

公文書の書式をユニバーサルデザイン仕様へ変更して、誰にでも読みやすい、読み間違えない文書の提供を。
フォントの使用には、ライセンスを購入する必要があり、導入範囲にもよるが、かなりの費用が必要となる。また、各業務システムは、メーカーで使用するフォントが決まっていることから、全ての公用文を変更することは、現在のところ困難で、今後は可能なものから取り組んでいく必要があると考える。

ユニバーサルデザイン
フォントの比較イメージ
(右側がユニバーサルデザインフォント)





質問1

議会報告・懇談会等の
市民の意見から

①消防格納庫や詰所は、消防団員の活動拠点であるが、「水や湯が使用できない等、不自由をしている。」との意見を聴く。消防格納庫に水道設備を整備すべきではないか。また、消防格納庫や詰所の施設整備を図るべきと考えるが所見を伺う。

限りは新たな接続を行う予定はない。消防団の待機場所については、老朽化している消防格納庫を改築整備する際に、消防団の活動状況を踏まえ、格納庫内に待機スペースを設ける等の場合もある。また、地域の了解のもとで、集会所等を活用させていただくことについても、災害対策活動に支障がない限り差し支えないと考えている。

中原地域振興部長

②指定管理施設では、利用料金は条例で定める額の範囲内で、市長の承認を得て指定管理者が決定されている。三和総合運動公園の野球場は、市の直営施設であり、三次市体育施設設置及び管理条例に基づいて使用料を徴収している。
主催団体や申請人が市民の場合もあるが、大会内容や利用団体等の実態に応じて負担をいただいている。使用料や利用料金は、施設を維持管理していくために必要であり、貴重な財源であるので、利用者の理解をいただきたいが、市内の他の施設の状態等、実態を調査し、検討していきたい。

答弁1

使用料等は、施設維持の
財源なので、利用者の
理解をいただきたい

①消防格納庫の多くは市町村合併以前に設置されており、水道等の引き込みがない施設もあるが、現状では、特段の事業が無い

川村危機管理監

①消防格納庫の多くは市町村合併以前に設置されており、水道等の引き込みがない施設もあるが、現状では、特段の事業が無い



三和総合運動公園



質問1

三次地区の活性化策は

本市では、三次もののけミュージアムが予想以上の入館者でにぎわっている。このように観光客が来られる中で、商業活性化、市街地活性化についてどのように取り組んでいるのか。

答弁1

様々な活動を官民で
取り組んでいく

中原地域振興部長

三次もののけミュージアムから三次町への周遊の取組は、三次観光まちづくり機構がクイズラリー、三次もののけカフェめぐり、みよし町マルシェ等を開催されている。また、三次市観光ボランティアガイドグループが町並みや尾関山等の観光ガイドをされ、この取組でまち歩きが増えており、三次市観光キャンペーン実行委員会では、継続して養成講座も実施されている。

今後様々な活動を官民で取り組み、継続して三次町への周遊、活性化に努めていく。

本市では、インバウンドや周遊観光客を受け入れられるホテルが少ない。また、近く宴会場兼会議場の施設が閉鎖すると聞いているが、新たなホテル等の誘致を企業誘致と同じ様に対応されないのか伺う。

質問2

宿泊施設の誘致は

答弁2

民間主導での取組が
基本と考える

中廣産業環境部長

本市では、工場等設置奨励条例に基づき、製造業、流通施設、情報サービス事業所等の企業誘致活動を展開している。工業団地は完売しているが、民間遊休地等、新たに選定した産業用地をポイントとして企業誘致活動を進めている。

ホテル等の宿泊業の立地については、民間主導での取組が基本であると考えている。優遇措置としては、現在、ホテル等の宿泊業は工場等設置奨励条例に基づく奨励制度の対象ではないが、固定資産税の税制面において優遇措置の対象となっている。



貸会議室が閉鎖されたグラン・ラセーレ三次



質問1

交付税一本算定が始まる中、
選択と集中の考えは

交付税の一本算定が始まる。財政的に厳しい状況であり、予算をより効率的、効果的に使う必要がある。

本市の舵取り役として将来の市民のより良い暮らしを守るために、市長は何を選択し、何に集中してまちづくりを進めて行くのか考えを伺う。

答弁1

限られた資源を有効に使い、
持続可能なまちづくりを進める

中村総務企画部長
財政的により一層厳しい状況が今後予想されることから、引き続き行財政改革を推進し、長期的視点に立ち、選択と集中で限られた資源を本当に必要なことに有効に使い、持続可能な市民のためのまちづくりを進める事が重要と考えている。

災害に強いまちづくりを始めとした7つの項目に沿って、重点的に施策に取り組み、市民の力も発揮し、市民と共に変化を起こしていくことが重要であり、今後市民、市議会の意見を伺いながら、子育てしやすい三次、生

質問2

三次市行財政改革推進計画の
期間の前倒しを

第4次三次市行財政改革推進計画を総合計画の終期と合わせることは、行財政改革を進め、財政と組織体制が整った時には、総合計画の期間も終わっていることになる。

推進計画の期間を前倒ししてでも行財政改革を成し遂げるくらいの気概が必要であるが考えを伺う。

答弁2

総合計画の残り期間を踏まえ
行財政改革を進めていく

福岡市長
現在の総合計画の計画期間は残り5年となっている。行財政改革は総合計画を実現するための手段であるので、三次市行財政改革推進計画の計画期間についても、5年間としている。なお、進捗状況等については、今後市議会へ示していく。



総合計画・行財政改革大綱・推進計画

議会改革推進特別委員長報告(要旨) 令和元年12月18日

議会改革推進特別委員会は、二元代表制の一翼を担う存在として、市民に信頼され、市民の負託に応え得る議会の確立に向け、議会基本条例の検証後の課題や新たな項目の検討も合わせ、更なる議会改革を推進するため、これまで、38回の委員会を開催し、2回の中間報告を行ってまいりました。

議会改革の取組では、自由討議と議会議事室の充実、予算決算常任委員会のあり方等について協議・検討を行いました。

自由討議については、三次市議会自由討議実施要領を作成し、議員相互間の自由な討議を重んじながら、議員間の理解を深め、議論の経過を市民に説明できることと、あわせて議員が議論を交わすことで資質を高め、委員会や議会の活性化に繋げることを目的に、積極的に実施していくべきものとなりました。

議会議事室の充実については、三次市立図書館の協力を得て、議会議事室に1か月50冊程度貸出しをいただき、議員の必要とする資料を検索・提供・回答をするレファレンス機能も持った規則を定め平成29年4月から利用を開始しています。

予算決算常任委員会のあり方については、予算決算審査資料の充実を図るため、これまで口頭説明で行われていた事業目的・内容・事業費の積算根拠、財源の内訳等を明文化し説明資料として提供されることで、審査機能の充実・強化が図られるものとなりました。

次に、議員定数の見直しにおいて、審査の過程で出された主な意見として、「議会活動を活発にするためには、議員の資質を高め、市民の声を議会に反映させる必要がある。」等の意見がありました。「一方、「本市の人口や財政規模、類似団体の議員定数削減の状況を考えて、委員会が機能する最低限必要な人数まで削減してもいい。」との意見もあり、審査の結果、「現状維持の24人とする」意見と「22人に削減する」意見の二案に分かれ、ともにもつともな理由があり、一つの意見を総意とする結論には至りませんでした。

次に、議員報酬については、「議員報酬だけを捉えて考えると難しく、議員定数と議論するのがいいのではないか。」等の意見があり、結論には至らず今後の課題とすることとなりました。

また、今年度、議会活性化と機能強化の面から通年議会について取り組み、愛知県豊明市で行政視察を行い、通年議会は運用の仕方での議会の権限や機能強化を図ることができ、仕組みだけを取り入れただけでは現状と変わらないため、議員間の議論を深めて運用が可能かどうかを協議していくことが必要であると感じました。その後、委員会でも具体的な通年議会の検討項目を協議し、導入する場合の想定として、条例で定例会を一回と改正するパターンを選択すること等を議長へ報告しました。

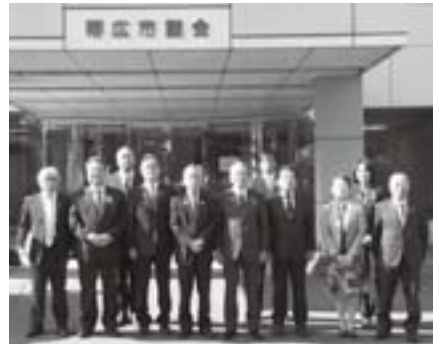
議長は、通年議会を調査・研究することは必要であり、導入は時期的なものもあるので改選後の議会へ引き継ぐことを判断され、12月16日に正副議長と議会運営委員長とともに市長へ通年議会の取組について説明し、執行部においても調査・研究に取り組みされることを申し入れたところであります。

最後に、議会基本条例の改正の必要性について協議した結果、17条の議会事務局体制の整備の条文の一部を変更することを検討いたしました。が、解説を変更することで対応可能ということとなり、この度は改正しないこととしました。

以上が、この4年間で議会改革推進特別委員会において議論し審査した主な項目で、その他の項目として、政策評価・立案及び委員会の活性化や記者会見の実施等を審議いたしました。議会改革の取組は日々進化し、終わることなく続けていかなくてはならないものであります。

今後は、議会運営委員会での議会改革が推進されるよう期待し、議会改革推進特別委員長としての最終報告いたします。

※全文は市ホームページ(三次市議会「委員会各種報告・会議録」ページ)に掲載してあります。



議会運営委員会 視察研修報告

【実施日】令和元年10月23日(水)～25日(金)
【視察地】北海道帯広市、北海道河西郡芽室町

本委員会は、本市議会でも取り組んでいる議会改革について、他市町議会の先進的な議会改革の取組を参考とする目的で、本年度は特に議会改革度ランキングの高い市町議会の取組状況を視察し、今後の本市議会の運営に活かし議会改革の参考とすることをした。

帯広市議会では、議会改革の取組について説明を受けるとともに次の5項目について視察を行った。

- ① 常任委員会、特別委員会のインターネット配信について。
 - ② 意見交換会(議会報告会)の成果と課題について。
 - ③ 大規模災害時の議会対応について。
 - ④ 予算決算の審査方法について。
 - ⑤ 一般質問における(1)モニター資料の扱いについて(2)質問時間オーバーへの対応について。
- 芽室町議会では、議会活性化計画及び住民参加策を進める取組についての説明を受けるとともに、次の5項目について視察を行った。
- ① 通年議会導入によるメリット・デメリットについて。
 - ② 議会モニター制度導入によるメリット・デメリットについて。
 - ③ 議会基本条例の検証見直し手

(委員長 澤井 信秀)



教育民生常任委員会 視察研修報告

【実施日】令和元年10月16日(水)～18日(金)
【視察地】兵庫県朝来市、奈良県奈良市、兵庫県相生市

朝来市では、「地域包括ケアシステムの取組」について視察を行った。

地域包括システムづくりを積極的に進められており、地域で課題を抱えている人をいかに支援していくか。近隣者、区長、保健師、ケアマネジャー、銀行員等、様々な人を巻き込んで「向こう三軒両隣会議」を設置し、ツナガリを強化し、地域の声の取りこぼしがないよう取組をされている。本市においても、SOSを声に出せない人の支援や早めの相談等、暮らしを支えるシステムを構築していくことが必要と考える。

奈良市では、「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の取組」について視察を行った。市を挙げて子どもに対する支援を打ち出し、子どもも議会を設置し、市長に要望書を提出し、実現している。本市においても、「三次市子ども未来応援宣言」を基に、子育て支援の推進や雇用環境の整備、保育サービスや母子保健医療体制の充実を今以上に進

めなければならぬと考える。相生市では、「子育て支援策「11の鍵」の取組」について視察を行った。

相生市では、子育て応援都市宣言をし、子育てしやすい環境を整え、人口減少対策や定住促進を進めておられる。その「11の鍵」の取組の中で特に、「市立幼稚園、小学校、中学校の給食費の完全無料」を実施されており、人口減少に取り組まれている。相生市の人口ビジョン計画において、取組前と比較して、人口の減少幅が緩やかになっており、一定の成果が出ているのではないかと話があった。本市では実施していない事業もあったので、三次市方式として展開してはどうかと考える。また、事業推進にあたり、「11の鍵」というネーミングはPRするうえで、よく考えられていると感じた。

(委員長 桑田 典章)



総務常任委員会 視察研修報告

【実施日】令和元年10月16日(水)～18日(金)
【視察地】熊本県益城町、宮崎県都城市、宮崎県日向市

大規模地震の対応について、台風等の事前予測できる災害と違って突発的な地震に対応できるように、平常時からの計画策定や訓練が必要不可欠であり、災害対策本部や指定避難所自体が被災して使えない場合があること等を学んだ。

また、災害受援計画の作成が必要であることや災害ゴミの集積所、仮設住宅、支援助物資受入等の予定候補地の選定と事前交渉を行うておくこと、全国の自治体及び民間企業との連携強化や被災地に職員を災害派遣させ、スキルアップに繋げる取組も防災力強化に有効であること等、本市の防災対策にも繋がる取組として大変参考となった。

今年度、総務常任委員会の重点活動テーマである「防災」と調査研究事項から「観光振興」に関するものについて視察研修を行った。

益城町では、「平成28年熊本地震からの復興」に向けた取組についてその経験から

日向市では、大規模災害受援計画書や業務継続計画書について、大規模災害時の応援受入の際の計画の策定及び大規模災害時に市の業務をどのように継続していくかの計

画について説明を受け、大規模災害時受援計画の策定は必要不可欠であり、業務継続計画も事前に細かく作成することにより、非常時においても市民生活に不便が生じないよう業務に取り組み、混乱を招かない予防策として必要であると感じた。今後は、この度の益城町と日向市の取組を参考に、委員会活動を通じて本市の防災に活かしていきたい。

(委員長 杉原 利明)

議会のうごき

2019(令和元年)年11月1日~2020(令和2年)年1月31日

- | | | |
|-------|------------|-----------------------------------|
| 11月 | 5~20日 | 議会報告・懇談会 |
| | 6日 | 議会運営委員会 |
| | 15日 | 行財政改革調査特別委員会 |
| | 20日 | 議会改革推進特別委員会 |
| | 26日 | 議会運営委員会、全員協議会 |
| 28日 | 日彰館高校意見交換会 | |
| ----- | | |
| 12月 | 5日 | 議会運営委員会 |
| | 6日 | 議会運営委員会、12月定例会本会議、全員協議会 |
| | 9~11日 | 本会議(一般質問) |
| | 11日 | 広報広聴常任委員会 |
| | 12日 | 総務常任委員会、教育民生常任委員会 |
| | | 産業建設常任委員会 |
| | 16日 | 予算決算常任委員会 |
| | 18日 | 議会運営委員会、本会議、全員協議会
行財政改革調査特別委員会 |
| ----- | | |
| 1月 | 14日 | 全員協議会、会派代表者会議 |
| | 22~23日 | 令和元年度特別交付税増額要望【議長】 |
| | 28日 | 議会運営委員会、広報広聴常任委員会 |
| | 31日 | 広報広聴常任委員会 |

行政視察受入状況

- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 11月27日 | 神奈川県愛川町
(タブレット導入、議会報告・懇談会) |
| 1月17日 | 長野県東御市(川西郷の駅) |
| 1月22日 | 埼玉県幸手市(三次駅周辺整備事業) |
| 1月23日 | 愛知県半田市(ネウボラみよし) |
| 1月29日 | 神奈川県寒川町(防災情報アプリ)
山形県寒河江市(不妊治療助成) |
| 1月31日 | 東京都三鷹市(学力ぐんぐん事業) |

次期定例会は

2月28日(金)に開会する予定です。

議会を傍聴してみませんか

議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴される方は、当日傍聴席の入口で傍聴券を受け取って入場してください。車イスを利用される方のスペースや集団補聴システム(磁気ループ)が整備されていますのでご利用ください。

なお、傍聴席(30席)が満席となった場合は、入場を制限しますのでご了承ください。

請願・陳情の提出は、2月17日(月)正午まで

市政についての意見や要望を直接市議会に提出する制度で、議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情と言います。どなたでも提出することができます。

議会中継をご覧ください

ケーブルテレビにより本会議・予算決算常任委員会の生放送と当日の夜7時から本会議の再放送をしています。また、市議会のホームページにおいて本会議の様態をインターネット配信しています。ぜひご覧ください。

市議会トピックスをご覧ください

毎月1回、ケーブルテレビの「あっちこっち三次」に議員が出演し、各委員会の報告等を行っています。

無料アプリ「マチイロ」版の議会だよりについて

無料アプリ「マチイロ」を利用して、みよし市議会だよりをご覧いただくことができます。

詳しくは市議会ホームページの「みよし市議会だより」のページをご覧ください。

お問い合わせは

議会事務局 TEL 0824-62-6179
FAX 0824-62-6110

●Eメールアドレス
gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp

みよし紀行

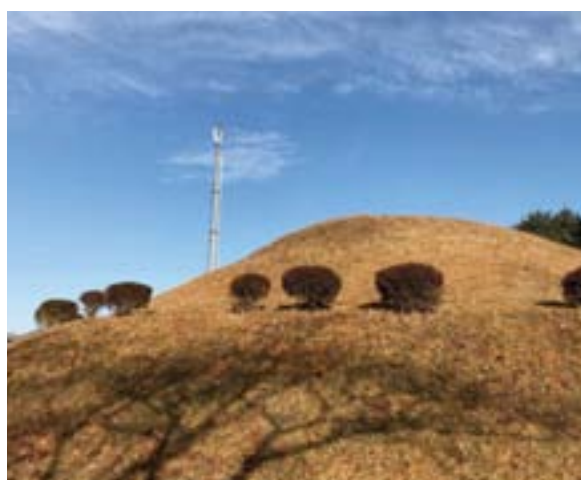
み たま おお つか こ ふん

三玉大塚古墳 (吉舎町)

JR福塩線吉舎駅の南東に三次市立吉舎小学校があり、その丘陵の頂上に5世紀後半につくられた7基の古墳があります。その中で最大のものが帆立貝式古墳の三玉大塚古墳です。

この地域の豪族の墳墓とみられており、内部は竪穴式石室で、明治36年(1903年)に発掘された鏡2面をはじめ武器や武具等、多くの出土遺物は全国的にも注目され、現在は東京国立博物館に所蔵されています。

三玉大塚古墳は、三次盆地の東縁部を代表し、日本にとって重要な古墳です。(桑田 典章)



あとがき

三次市議会基本条例の定めるところにより、広報広聴常任委員会では議会運営に関するあらゆる情報の公開、意見や提言等を直接市民の皆様から聴取する場として、市議会だより、議会報告・懇談会・高校生との意見交換会、ピオネット出演等の企画運営を行っています。

今期2年間での委員会活動は残すところ2ヶ月となり

ました。本市議会の議会改革において「市民参加型の議会」をめざし試行錯誤を続けておりますが道半ばです。

4月には市議会議員選挙が実施され、新しい議会構成となりますが、さらに市民の皆様の思いを政策に反映できる議会へと成長していきたいと思っております。

(山村 恵美子)